

科目名		薬理学演習	
科目責任者		高 橋 富 美	(薬理学 教授)
担当者		石 兼 真	(薬理学 講師)
開講時期:		2～3年次	単位数: 6 単位
			時間数: 90分× 45 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 個体レベル・細胞レベルで薬理学的効果を判定する手法を学び、その手技を演習を通して取得する。さらに論文の抄読会、研究セミナー、薬理学会などの多くの機会を通して、薬理学全般にわたる科学的基礎知識を習得するとともに演習する。 行動目標 (SBOs) 1) 薬理学的手法を動物実験・細胞実験に応用することができる。 2) 薬理学的手法の応用における問題点を論じることができる。 3) 薬理学的手法により得られた結果を解析し、その意義を議論することができる。 4) 英語の科学論文を読み、それを抄読会において解説、紹介できる。 5) 研究成果をまとめて、研究セミナーと発表できる。			
● 評価方法		検討会での討論 (50%程度)・発表 (50%程度) 等で総合評価する。	
● 参考文献		演習の中で必要に応じ紹介する。	